

第29回

生物化学的測定研究会学術シンポジウム

Biochemical Assay Society of JAPAN

—生物化学的測定で迫る PFAS汚染の実態—

主催：生物化学的測定研究会

後援：国立環境研究所

(ポスター作製日：2024年10月10日)

令和6年

11/1

(金)

オーガナイザー

鈴木 剛

(国立環境研究所 資源循環領域)

発表形式

対面とオンラインによる
ハイブリッド形式

参加費

- 会場来場者
会員：3,000円、非会員：5,000円
学生：無料
- オンライン視聴：一律1,000円
- 交流会：5,000円(予定)

開催場所

国立研究開発法人国立環境研究所
大山ホール内・中会議室

所在地：
〒305-8506 茨城県つくば市小野川16-2
最寄駅：つくばエクスプレス「つくば駅」
JR常磐線「ひたち野うしく駅」
最寄バス停：関東鉄道バス・JRバス関東
「環境研究所」
※公共交通機関でお越しください

講演内容

- | | |
|-------------|---|
| 13:00-13:05 | 開会の挨拶
鈴木 剛
(国立環境研究所 資源循環領域 資源循環基盤技術研究室 室長) |
| 13:05-13:30 | 講演1「有機フッ素化合物(PFAS)に関する環境省の取組」(オンライン発表)
吉崎仁志
(環境省 水・大気環境局 環境管理課 有機フッ素化合物対策室長) |
| 13:30-14:05 | 講演2「PFAS 研究の現状と課題 - 曝露と健康影響 -」
藤井由希子(第一薬科大学 薬学部 健康・環境衛生学講座 教授) |
| 14:05-14:10 | (休憩) |
| 14:10-14:45 | 講演3「PFASによるPPAR α 活性と妊娠マウスへの曝露が仔肝臓に及ぼす影響」
小島弘幸(北海道医療大 衛生薬学講座 教授) |
| 14:45-15:20 | 講演4「PFAS の毒性研究—主に水生生物を中心に—」
石橋弘志(愛媛大学大学院農学研究科 教授) |
| 15:20-15:25 | (休憩) |
| 15:25-15:50 | 講演5「PFAS を検出するイムノアッセイの開発に向けて
—PFAS コンジュゲートの展開—」
澤田石一之
(合同会社カーバンクル・バイオサイエンテック チーフエグゼクティブ) |
| 15:50-16:15 | 講演6「PFAS を検出するバイオアッセイによる影響指向分析」
鈴木剛(国立環境研究所 資源循環領域 資源循環基盤技術研究室 室長) |
| 16:15-16:40 | 講演7「メダカを用いたPFAS汚染の全国調査」
鎌迫典久(愛媛大学大学院農学研究科 教授) |
| 16:55-17:00 | 閉会の挨拶
鎌迫典久(愛媛大学大学院農学研究科 教授) |
| 18:00-20:00 | 交流会 |

参加お申込み

下記URLまたは
右記QRコードより
10月25日(金)までに
お申込みください。

<https://forms.office.com/r/rmGpvPfGny>



お問い合わせ

生物化学的測定研究会事務局
(株)森永生科学研究所内
(担当：油谷(あぶらたに))
E-mail: basj@morinaga.co.jp
HP: <https://www.basj.info>

